

第3学年国語科学習指導案

日時 平成28年6月22日（水）第4限
場所 3年教室
指導者 小山 眞由美

- 1 単元名 物語のしかけをさがそう
教材名 『ゆうすげ村の小さな旅館』

2 単元目標

- (1) 物語を読むことに興味をもち、物語のしかけを探しながら読もうとする。(関心・意欲・態度)
- (2) それぞれの場面で起きた出来事を読み取り、場面と場面を関連づけて読むことができる。(読む)
- (3) 物語のしかけを見つけるために、文章中の語や表現に着目して読むことができる。(読む)
- (4) 自分が感じたことや考えたことについて、理由をあげて書くことができる。(書く)
- (5) 表現したり理解したりするために、必要な語句を増やすことができる。(言語についての知識・理解・技能)

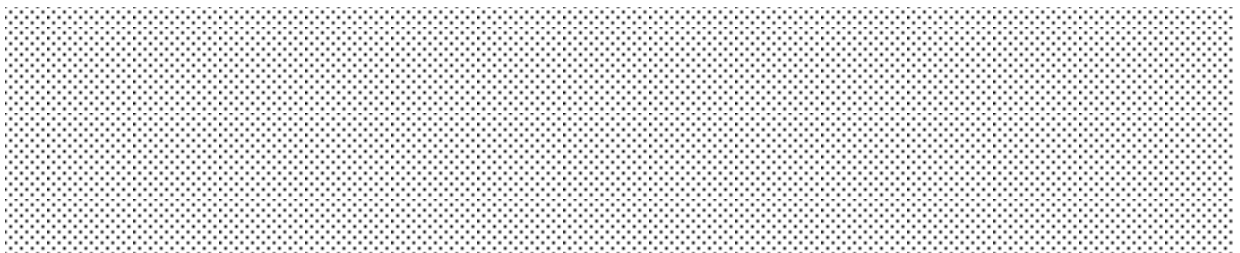
3 指導上の考察

(1) 単元について

本単元では、物語の「しかけ」を探することで場面と場面を関連づけて読み、人物像や人物の気持ちの変化を想像しながら読む力をつけることをねらいとしている。そのために、物語の「しかけ」を探しながら読む活動を設定している。「しかけ」を探すために、それぞれの場面の出来事を関連づけ、文章中の言葉や表現に注目して読む力が必要とされる。また、人物の行動や会話を手がかりに、場面の移り変わりとともに変化する人物の気持ちをとらえる力をつけることもできる。子どもたちは、ファンタジーのお話の中にある「しかけ」探しを楽しみながら、読む力を深めていける単元である。

本教材は、茂市久美子作『ゆうすげ村の小さな旅館』に収録されている12編のお話の一つである。主人公つばみさんと美月の「互いに見返りを求めない好意の交流」を描いた心温まる作品である。基本的に時間の経過にそって物語が展開しており、時を表す言葉に着目することで、場面をとらえることができる。また、人物の行動や会話に気持ちが表れており、人物の気持ちを想像することが容易である。さらに、この作品はファンタジー作品であり、さまざまなしかけがある。ファンタジーのおもしろさを知り、読書の幅を広げることのできる教材である。

(2) 児童について



4月には、「すいせんのラッパ」で、場面の様子を思いうかべて、音読する学習を行った。恥ずかしがらずに、場面の様子を表現しようと努力する姿が見られた。その後も音読の力を伸ばすことに力を入れるため、音読カードを用いて、音読を家の人に聞いてもらって、サインや励ましの言葉を書いてもらう活動を毎日続けたり、授業に音読の時間を多く取り入れたりしている。また、単元ごとに音読テストをし、正確に、しっかりした声で読むことを常に意識して練習するようにさせてきている。

個人差はあるものの、叙述に基づいて「読み取る」力は持っており、説明文「自然のかくし絵」では、段落ごとの内容をとらえながら読む学習をし、大事な言葉や題名に関係のある言葉に着目して要点をまとめた。要点をまとめる学習は初めてであったが、自分で考えたり、友達の意見を聞いたりして、頑張る姿が見られた。

(3) 指導について

まず、初発の感想を交流させることによって、物語をより詳しく読もうとする意識を持たせる。

また、第1次で、難語句を国語辞典で調べる学習や、新出・読み替え漢字を覚える学習をする、第二次では、時を表す言葉を手がかりに場面をわけ、場面ごとに起きた出来事確かめて表にまとめ、美月がウサギであることが分かるヒントを探して発表させる。

その上で、第3次では、それぞれの場面で起きた出来事を読み取り、人物の様子や気持ちを想像しながら読む活動に入る。この活動の際には、ペアやグループで意見を交流する機会を作り、緊張せずに、自分の意見を言える場面を作っていく。読み取りの学習では、それぞれの登場人物の様子や気持ちが分かる語や文に色分けして線を引かせて、理解を深める。また、書画カメラで、教科書を拡大提示し、より分かりやすく語や文に注目させていく。どの時間も、「めあて」を提示し、学習活動を終えた時、必ず「振り返り」を書く活動を取り入れて、学習の目的や成果を意識させていく。

第4次では、しかけのある物語を全校のみんなにすすめるリーフレット作りに取り組む。リーフレットの形や内容については、ある程度、指導者の方で例を提示し、取り組みやすくする。個人でリーフレットを作る前に、グループで協力して、リーフレット作りに取り組み、内容や作り方について話し合うことによって、個人でリーフレットを作る時のヒントにさせていく。

4 指導計画（全12時間）

- (1) 物語を通読して感想を交流し、学習課題を確かめ、学習の見通しを立てる。
新出漢字・読み替え漢字・難語句の学習 ・2時間
- (2) 時を表す言葉を手がかりに場面を分け、場面ごとに起きた出来事確かめる。
美月がウサギであることが分かるヒントを考える。・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (3) それぞれの場面で起きた出来事を読み取り、人物の様子や気持ちを想像しながら読む。
3時間
- (4) 他の作品を読んで、おすすめの本をリーフレットで紹介する。・・・・・・・・ 5時間
本時2／5

5. 本時の指導

- (1) 本時の目標 「おすすめの本」のリーフレットを作ることを目的にして、物語のしかけや表現に着目して読み、意見を交流することができる。
- (2) 準備物 書画カメラ、リーフレットの見本、ワークシート
- (3) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価
1. 本時のめあてを確認する。		
おすすめの本のリーフレットを作るために、班で協力して、物語のしかけをさがし、リーフレットに書く内容を考えよう。		
2. 自分が読み取ったしかけをグループで発表し、リーフレットに書く内容を考える。	・事前に、個人で物語のしかけとその理由を考えさせておく。 ・何を書けば、その物語を読みたいという気持ちにさせるかを考えるように指示する。	
3. 各グループで考えた物語のしかけとリーフレットに書く内容を発表し合う。	・各班の意見の共通しているところ、違うところを考え、リーフレットに載せる内容を吟味させる。 物語のしかけや表現に着目して読み、リーフレットに書く内容を考えようとしている。 (発言)	
4. 振り返りをする。	・物語のしかけを考えながら、リーフレットに書く内容を考えることができたかを振り返る。	
5. 次回、個人でリーフレットを書くことを伝える。	・今日考えた内容を、リーフレットにどのように表現するかレイアウトや書き方お考えしておくように指示する。	